

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目				環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.9
Q1 室内環境							0.40		-	3.8
1 音環境						3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル				—		3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音				—		3.0	0.50	3.0	0.50	
1		開口部遮音性能		—		3.0	1.00	3.0	0.30	
2		界壁遮音性能		—		-	-	3.0	0.30	
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)		—		-	-	3.0	0.20	
4		界床遮音性能(重量衝撃源)		—		-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音				—		-	-	-	-	
2 温熱環境						1.0	0.35	5.0	1.00	4.7
2.1 室温制御				—		1.0	1.00	5.0	1.00	
1		室温		住: 日本住宅性能表示5-1断熱等級5		-	-	-	-	
2		外皮性能		住: 日本住宅性能表示5-1断熱等級5		1.0	1.00	5.0	1.00	
3		ゾーン別制御性		—		-	-	-	-	
2.2 湿度制御				—		-	-	-	-	
2.3 空調方式				—		-	-	-	-	
3 光・視環境						2.7	0.25	3.5	1.00	3.4
3.1 昼光利用				—		3.0	0.30	3.0	0.50	
1		昼光率		—		3.0	0.60	3.0	0.50	
2		方位別開口		—		-	-	3.0	0.30	
3		昼光利用設備		—		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策				—		2.0	0.30	4.0	0.50	
1		昼光制御		住: カーテン+庇(バルコニー)にて昼光制御		2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度				—		3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御				—		3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境						3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策				—		4.0	0.60	4.0	0.63	
1		化学汚染物質		共・住: F☆☆☆☆建材をほぼ全面的に採用		4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気				—		3.0	0.40	3.0	0.38	
1		換気量		—		3.0	1.00	3.0	0.33	
2		自然換気性能		—		-	-	3.0	0.33	
3		取り入れ外気への配慮		—		-	-	3.0	0.33	
4.3 運用管理				—		-	-	-	-	
1		CO ₂ の監視		—		-	-	-	-	
2		喫煙の制御		—		-	-	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	2.8
1 機能性						2.4	0.40	2.6	1.00	2.5
1.1 機能性・使いやすさ				—		3.0	0.40	3.0	0.60	
1		広さ・収納性		—		-	-	-	-	
2		高度情報通信設備対応		—		-	-	3.0	1.00	
3		バリアフリー計画		—		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				—		1.0	0.30	2.0	0.40	
1		広さ感・景観		—		-	-	3.0	0.50	
2		リフレッシュスペース		—		-	-	-	-	
3		内装計画		—		1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理				—		3.0	0.30	-	-	
1		維持管理に配慮した設計		—		3.0	0.50	-	-	
2		維持管理用機能の確保		—		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				—		3.0	0.50	-	-	
1		耐震性(建物のこわれにくさ)		—		3.0	0.80	-	-	
2		免震・制震・制振性能		—		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				—		3.5	0.30	-	-	
1		躯体材料の耐用年数		日本住宅性能表示3-1劣化等級3		5.0	0.20	-	-	
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔		—		2.0	0.20	-	-	
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔		住: 床:ビニル床シート:20年、壁:ビニルクロス貼:20年、天井:ビニルクロス貼:30年		4.0	0.10	-	-	
4		空調換気ダクトの更新必要間隔		—		3.0	0.10	-	-	
5		空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管ポリエチレン管(B)、排水管VP(B)、通気管VP(A)、Eは不採用		5.0	0.20	-	-	
6		主要設備機器の更新必要間隔		—		2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				—		2.6	0.20	-	-	
1		空調・換気設備		—		3.0	0.20	-	-	
2		給排水・衛生設備		—		2.0	0.20	-	-	
3		電気設備		—		3.0	0.20	-	-	
4		機械・配管支持方法		—		3.0	0.20	-	-	
5		通信・情報設備		—		2.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性			3.0	0.30	3.0	1.00	3.0
	3.1 空間のゆとり			-	-	3.0	0.50	
	1	階高のゆとり	-	-	-	3.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ	-	-	-	3.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり		-	-	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	1.8
1	生物環境の保全と創出		-	1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮		-	2.0	0.40	-	-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		-	2.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		-	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	3.7
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.4
1	建物外皮の熱負荷抑制		日本住宅性能表示5-1断熱等級5	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用		-	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		BEI=0.82	5.0	0.50	-	-	5.0
4	効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	-	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	-	-	-	-	-	
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.1
1	水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水		-	3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	-	3.0	1.00	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60	-	-	3.2
	2.1 材料使用量の削減		-	2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		-	3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGS工法のため、躯体と仕上が容易に分別可能	5.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		-	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤	-	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	-	3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒	-	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.3
1	地球温暖化への配慮		LCCO2排出量を参照値より抑制している	4.1	0.33	-	-	4.1
2	地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
	2.1 大気汚染防止		-	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		-	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	-	2.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	-	3.0	1.00	-	-	
	2	振動	-	-	-	-	-	
	3	悪臭	-	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	-	-	-	-	-	
	3	日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明無し	4.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0		－	○	○	－	○	○	－	○	－	－	－	－	－
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0		－	○	－	－	○	－	－	－	－	○	－	○	－
2.4.1 空調・換気設備	－		○	－	－	－	－								
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	－	－	－	－	－	－						
2.4.3 電気設備	1.0	－	－	－	－	○	－	－							
2.4.5 通信・情報設備	1.0		－	－	○	－	－	－							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	3.0		－	－	2.0	－	－	－	－	－	1.0	－	－		
2 まちなみ・景観への配慮	1.0		－	1.0	－	－	－	－							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		－	－	－	－	－	1.0	－	－					
3.2 敷地内温熱環境の向上	7.0		－	2.0	－	1.0	－	－	－	2.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			－	－	－	－	－	－	－	－					
2.1 材料使用量の削減	－		－	－	－										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			－	－	－	－	－								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	○	－	－									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	－														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	10.0		1.0	－	－	3.0	1.0	－	－	2.0	3.0	－			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	－	1.0	－	－	－							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0		－	1.0	1.0	－		－	－						
3.2.2 砂塵の抑制	－		－	－											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0		1.0	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	－	窓の日射熱取得率(η)		－
U値(W/m2K)	窓システム		屋根	－
住戸部分	窓システムU値	－	外皮UA値	0.5
			η AC	1.7
屋光率	－		η AH	－
自然換気有効開口面積率	－			

3.1.1 屋光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	－	/人	病床	－	/床	シングル	－	ツイン	－
--------	---	----	----	---	----	------	---	-----	---

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量	－	VA/m ²
---------	---	-------------------

1.2.1 広さ感・景観

天井高	－	m
-----	---	---

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース	－	レストスペース	－
------------	---	---------	---

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数	75 年
--------	------

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔	－ 年
--------	-----

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔	11 年
--------	------

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔	－ 年
--------	-----

3.1.1 階高のゆとり

階高	－ m
----	-----

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率	－
-------	---

3.2 荷重のゆとり

床荷重	－ N/m ²
-----	--------------------

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数	－	建物緑化指数	－
--------	---	--------	---

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率	－	水平投影面積率	－	地表面対策面積率	－	舗装面積率	0%
-----	---	---------	---	----------	---	-------	----

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI _m	－	断熱等性能等級	等級4を超える 相当
----------------------	---	---------	------------

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量	－	MJ/年m ²	採光を満たす教室数	－	採光を満たす住戸数	－
--------------	---	--------------------	-----------	---	-----------	---

			通風を満たす教室数	－	通風を満たす住戸数	－
--	--	--	-----------	---	-----------	---

3 設備システムの高効率化

BPI/BPI _m	非住宅	－	住宅	0.82	太陽光	45.1kW	太陽熱等	－	蓄電池	－
----------------------	-----	---	----	------	-----	--------	------	---	-----	---

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率	－
-------	---

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目	－	エコマーク商品	－	自治体指定の特定品目等	－
--------	---	---------	---	-------------	---

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率	－
------	---

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP)	－	地球温暖化係数(GWP)	－
---------------	---	--------------	---

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP)	－	地球温暖化係数(GWP)	－
---------------	---	--------------	---

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP)	－	地球温暖化係数(GWP)	－
---------------	---	--------------	---

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	－	隣棟間隔指標R _w	－
地表面対策面積率	－	屋根面对策面積率	－
		外壁面对策面積率	－
見付面積S _b	－	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	－ m
		基準高さH _b	－ m
緑地	m ²	水面	m ²
		保水性対策面	m ²
		高反射対策面	m ²
		再帰性反射対策面	m ²